

3 類型	鉦工業品	通巻番号	5 - 2 2 - 0 0 6
地域資源名	電子機器	認定日	平成 2 2 年 9 月 3 0 日
地 域	滋賀県守山市	所管省庁	経済産業省

事業名：画像処理用 L E D 光源で培った光学技術を活用した「ポータブル分光検出器」の開発・販売

会社名：株式会社イマック
 所在地：滋賀県守山市幸津川町1551
 連絡先：TEL：077-585-6767 HP：http://www.kkamac.jp
 FAX：077-585-6790

事業概要（新たな活用の視点）

・平成 8 年に画像処理用 L E D 照明事業に進出し、検査に使用する画像処理装置用のカメラの照明に特化し、半導体検査装置などの最先端分野に向けて製品を供給している。
 ・本事業では、13 年間にわたり画像処理用 L E D 光源で蓄積してきた光学技術を応用して、従来にはない新たな分光分析装置「ポータブル分光検出器」(注)の開発を行う。
 (注)従来の汎用的な分光光度計は機能として特定の波長の数値について絶対値を測定するための装置であるが、ポータブル分光検出器は数値の絶対値の測定を目的とするのではなく、相対的な数値の比較、検出から「あるorない」「OKorNG」といった判定を行うための装置である。



【ポータブル分光検出器試作機】

売れる商品づくり（競争力、市場性、販路）

競争力

・ポータブル分光検出器は、用途及び対象とする試料（液体の分析対象物）を限定した専用の分光分析装置として、用途に応じた適正な性能及び機能を提供するもので、従来の 1 / 1,000 の試料溶液量で蛍光測定が可能。
 ・地域資源である電子機器に関連してこれまでに蓄積してきた L E D 及びライン C C D の製品実装ノウハウをもとに、既存の分光光度計では実現不可能であった小型化と低価格化を実現。

市場性

・従来の分光光度計は、大型で高額な装置へと進化してきたが、実用化が進むにつれて持ち運びの出来る現場レベルの測定器へのニーズが増加している。

販路

・バイオ関連及び化学関連の市場へ近隣大学、滋賀県工業技術総合センター、滋賀県中小企業団体中央会、滋賀県知的所有権センターの協力を得て販路開拓を実施する。



【試料保持部分拡大写真（特許申請中）】

地域資源における関係事業者との連携

・商品開発や販路開拓について、近隣大学、滋賀県工業技術総合センター、滋賀県中小企業団体中央会、滋賀県知的所有権センター等と連携を図る。